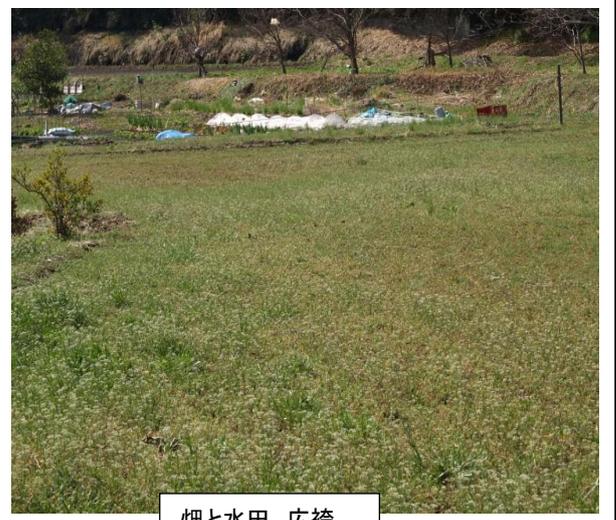


真光寺川の春の植物

広 袴調整池の水門から川に沿って少し歩くと右に僅かだが、水田と畑がある。町田市の北部ならいざ知らず、この辺では珍しい田園風景。

春の水田の雑草は、田植えの耕作前に開花し結実し種を散布する植物群である。種で来春まで過ごし、夏はコナギやオモダカが花を咲かせる。これらを夏の水田雑草といい、住み分けている。水田雑草はモミと共に入ってきたので他の国の水田雑草と同じらしい。春先の水田は青々して開花の



畑と水田 広袴



ホトケノザ

準備をし、ゲンゲなどが開花すると低地のお花畑と言われる。ゲンゲなどマメ科の植物は、根のバクテリアが大気中の窒素・肥料を取り込むので植えられたのである。

し かし、ここでは隣の畑の方が花を咲かせている植物が多い。かつては水田だったのかも知れない。日当たりがいい畑である。オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、ナズナ、ホトケノザなどが群落をつくっている。オオイヌノフグリは帰化植物で他にタチイヌノフグリなどがある。在

来種のノイヌノフグリはこの辺では見られない。ヒメオドリコソウも帰化植物で在来種のオドリコソウも少なくなってしまった。ナズナは在来種だが帰化植物のマメゲンバイナズナは真光寺川附近に生育している。ホトケノザは在来種でシソ科の植物である。柄がない葉が茎を取り囲む(仏の座)ように三段・三階につき、葉腋に花がつくことからサンガイソウとも呼ばれている。春の七草にホトケノザがあるが、本種では

なく、キク科のコオニタビラコで、春の水田雑草群落の構成種である。

こ れからは春の花が次々に咲き出す。陽気もよく観察には最適の時期である。

文：当会会員及び
日本植物友の会・講師
吉田 三夫

子供が遊べるふるさとの川へ、自然豊かな川の散歩道に、きれいな川にしましょう！

めだかポストを新しくしました

昨年12月真光寺川の5か所に設置しているめだかポストにすっかりガタが来ていたので2代目に一新しました。

よく「めだかポストってなあーに」と子供たちに聞かれます。この機会にめだかポストの由来等をお知らせします。

めだかポストは真光寺川を清流にする会が発足した翌年2001年4月に「めだか基金ポスト」という名前で設置されました。これは①川や生き物などについて気が付いたことや意見をおよせいただく情報箱として、②川掃除の用具などを購入する基金の募金箱として設置されました。また「めだか」とは、メダカのようにみんなに親しまれるポストにしたい、川がきれいになってメダカが住めるようになれば

いいなという気持ちで「めだか」とつけられました、

募金箱にて頂いたご寄付は大変助かりました。しかしその後めだかポストの募金が盗まれたりするようになり、2008年5月以降は募金はやめ、ご寄付は郵便振替



新しいめだかポスト

情報箱とし、名前も現在の「めだかポスト」に変わりました。これからも川に関心を持っていただき気が付いたことやご意見を新しいメダカポストに是非お寄せください。(記：黒田 健夫)

メダカポスト：お礼

2月～3月は能ヶ谷7丁目の花城様からのご寄付に、一木会からのご寄付を合算し3,060円でした。



当会の活動に対しお寄せいただいたご厚志に深く感謝いたします。

3月の清掃報告

3月11日は12名が参加し15袋のゴミと傘と自転車1台を引き上げました。

9日の大雨のおかげで石に付着した藻やゴミがかなり流されたのですが、3ヶ月振りの清掃でしたので残っていたゴミも多く汗をかきました。川の透明度は上がっていましたがまだ水は冷たく小魚の姿はあまり見られませんでした。

5月・6月の清掃(クリーン作戦)の予定

☆5月13日(日)、6月10日(日)

☆集合:9:30 下堰親水場

(能ヶ谷4丁目、魅力屋ラーメン店裏)

☆持物:軍手。その他ごみ袋、火ばさみや長靴など一部用意があります。

☆解散予定 11:00

真光寺川の川の中と周囲の道路のゴミを分担して拾います。どなたでも参加できます。ご一緒に川をきれいにしませんか

お願い! 真光寺川通信は紙面かEメールでお届けしています。

現在メール配信を推進しています。メール配信ではカラーでご覧いただけます。ご希望の方は下記までメールアドレスをお知らせください。

真光寺川を清流にする会のHP/mail
<http://www.shinkojigawa.com/>
e-mail: kawasemi@shinkojigawa.com

☆真光寺川を清流にする会 代表:山本隆治
☆事務局:黒田 TEL/FAX:042-708-4269
(ご意見・問合せは黒田までお寄せください)